

対象国の条件 : 中南米(スペイン語)

研修コース番号 : J1804338

案件番号 : 1884342

主分野課題 : 教育/前期中等教育

副分野課題 : 教育/後期中等教育

使用言語 : 西語

案件概要

本研修は、日本の数学教育を包括的に理解することを目指す研修である。算数科の授業実践から、カリキュラム開発、教材研究、教科書開発、試験実施方法等、政策制度から教員の授業実践力向上と3年間を通じて包括的な数学教育の質の向上を図る。

目標/成果

対象組織/人材

【案件目標】
自国の数学教育の向上に向け、日本の数学教育の知見が関係するステークホルダと共有される

【対象組織】
①教育省(中央又は地方)②教員養成機関(教育大学、教員養成カレッジ等) (全国又は地方)③学校(中等学校)

【成果】
単元目標1: 自国の数学科教育の抱える課題が整理・分析され、課題の構造が把握される。

【対象人材】
対象国で中等教育課程の数学教育の質の向上を目指した主導的立場にある教育省、新規教員養成課程または現職教員研修を実施している責任者であること。また本研修は日本の数学教育に関する実践的能力向上を通して、カリキュラム・教科書・授業・評価の包括的能力向上を目指しているため教師経験が5年以上(中等教育レベルがよい)ある実践者が望ましい。

単元目標2: カリキュラムの系統性、問題解決型アプローチ、授業研究などを学び、日本の数学教育の主要な特徴が理解される。

単元目標3: 日本の数学教育の経験を活用した、自国の数学教育の課題解決及び改善のための行動計画が策定される。

内容

【本邦研修】本研修は約3週間の期間で、以下に関する講義、演習、実習を通じ、日本における数学科教育の取組みを理解する。

- ①自国の数学科教育の抱える課題分析ワークショップ(各国比較表作成)
- ②日本の数学科の主要な特徴に関する講義(教育行政、校内研修、教員養成、カリキュラム)
- ③日本の数学科の主要な特徴を理解するための授業見学
- ④日本の数学科の主要な特徴を理解するための演習(教材研究、指導案作成、授業実践)
- ⑤日本の数学科の経験を活用した、課題解決及び改善の為の計画策定(アクションプラン、成果品作成)

本邦研修期間

2018/10/24~2018/11/17

担当課題部

人間開発部

所管国内機関

JICA中国

関係省庁

実施年度

2016~2018

主要協力機関

岡山大学大学院教育学研究科

特記事項
及び
ホームページ

前身の「初等算数科における教員の授業実践能力の向上」から変更し、中等教育を対象とした研修とする。